

第16回 ちゅうでん教育振興助成（平成28年度）

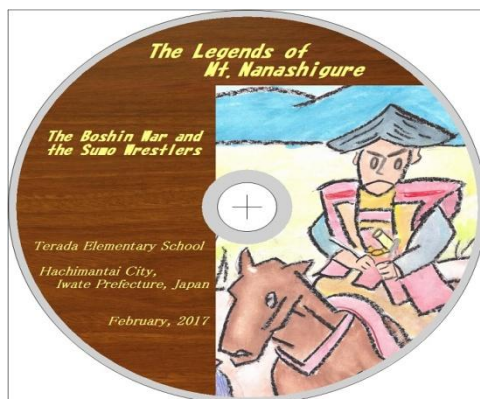
報告書資料 支援－03

学校名・団体名	八幡平市立寺田小学校
HPアドレス	なし
コース	学校支援
活動・研究 テーマ	自作紙芝居（英語・方言）の外国語活動等への活用
<p>〈活動・研究の意義、目的〉</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1 地域の昔話を聞き、紙芝居を製作し、活用することにより、郷土理解を深めるとともに、郷土を愛する心情を高める。</li><li>2 紙芝居を活用し「聞く」「話す」スキルを高め、英語や国語への関心を高める。</li><li>3 被災地の図書館へ寄贈し、広く活用していただき、郷土の歴史にふれていただく。</li></ol>	

## 1 製作品

電子紙芝居 “The Legends of Mt.Nanashigure—The Boshin War and the Sumo Wrestlers—”  
「七時雨山伝説—戊辰戦争と相撲どり—」

幕末に戊辰戦争で南部藩と秋田藩が戦争した史実をもとに、地元の若者二人が南部藩兵士として参加したこと、総大将南部藩家老、楢山佐渡とふたりのやりとりを物語化



## 2 活動内容

- (1) 昔話の調査と収集 5月～6月 5, 6年児童
- (2) 昔話の物語化 7月～10月 5年児童・ALT等
- (3) 電子紙芝居の業者委託 12月
- (4) 完成 H29年1月

## 3 活用の場

- (1) 復興教育
  - ・宮古市立図書館・八幡平市立図書館への寄贈により、郷土岩手への理解を深めていただく。
- (2) 外国語活動等
  - ・5, 6年の外国語活動で聞くことを中心に活用している。
  - ・全校・学年で方言の読み聞かせを行っている。
- (3) 地域貢献活動
  - ・4年生が3月に地域の行事で方言によるスライドショーを行う予定である。
- (4) 社会教育
  - ・地域のコミュニティセンターや市内の学童保育クラブにおいて、指導員が方言で読み聞かせを行っている。

## 4 成果

- (1) 郷土愛と地域づくり
  - ・語り部から昔話を聞き電子紙芝居等を製作するという活動を通して、昔話に親しむようになり地域を大切にしようとする気持ちが醸成されつつある。
  - ・地域の素材を発掘し、それを加工し形にして、発信する一連のプロセスは、地域づくりそのものである。児童らは地域づくりの手法を体験的に学ぶことができた。
- (2) 英語、国語への興味関心
  - ・外国語活動の学習では、これまでの総合の調査・製作のプロセスはあったので、ストーリー中の英単語を理解しようとする必要感が高まった。英語(話すこと・聞くこと)への興味関心を一段と高めたようである。
  - ・本校でも方言は児童らに伝承されにくい状況にあるが、本実践を通して以前より方言に親しみを感ずる児童が増加した。
- (3) 学校外とのつながり
  - ・製作品を様々な機関等に寄贈することにより、学校以外とのつながりを意識するようになりつつある。学びを通して学校の外とつながることのおもしろさを感じ始めたようである。